

塩尻に魅力と価値を見出す人たちがつながり、喜びと誇りを持ちながら働き、多様で付加価値の高い事業・商品・サービスを支えている

です

この「ありたい姿」の実現には、

生活し、働き、挑戦したい意味(働く人視点)

働く人や企業が塩尻を選んでいる

- ・住みたい/働きたい地域として、塩尻が選ばれている
- ・若者が夢を持てる魅力ある仕事があり、生活できる収入がある
- ・移住・定住した人がここを選んだ理由を語れる
- ・新規就農者や体験者の住まいの確保の仕組みがある

“はたらく”を通じた自己実現ができる

- ・働き方、仕事、キャリアを自分でデザインし、決めている
- ・世代・文化のギャップを認め、理解しあう土壌がある
- ・幸せや実現したいことに対して向き合い、挑戦することができる環境、人のつながりがある
- ・ベテランのノウハウを受け継ぐ仕組みがある
- ・仕事と余暇と趣味とが融合している

多様で付加価値の高い事業が形成され、集積(事業者視点)

業種・規模・職種の多様性が選択肢とリスク分散を実現

- ・1・2・3次産業が市内で発展。付加価値の高い製品やサービスを提供する企業・人が集積している。
- ・稼ぐ農業を目指した農業法人と里山を残しながら小規模な農業を営む兼業農家の両方がある
- ・働く選択肢が豊富で、世代交代、事業継承、新たなビジネス手法、未来への投資(学び・設備投資等)も行われている
- ・地場産業、商店街、伝統産業等を多くの人が関わっている(副業・外部協力者・企業連携等)。ソーシャルビジネスも集積。
- ・バランスのとれた土地利用により工業・商業・農業・住環境が良い形で立地し、土地が有効に活用されている

物語がある(消費者視点)

消費者に塩尻の物語が伝わる

- ・ものづくりの背景、ストーリーを消費者が理解したうえで、積極的に選択している
- ・農業者と消費者の交流が活発に行われている
- ・ワインやぶどうなど産品が堪能できる拠点がある

の実現が必要です

【ワークショップの概要】

- ・塩尻には、自然が豊富で暮らしやすい環境があり、様々な外部の人や企業を受け入れる土壌がある。この地で生活し、働き、挑戦し、自分らしい人生を送る人が増えていく状況の実現を目指したい。
- ・安定して稼ぐことができることが、働く人にも企業にもまず第一に重要。このためには、価値を生み出すことに挑戦する人や企業が集まりつながり、学びなおし、仕事を新陳代謝させ続けていくことが不可欠である。地域にある産業が産業間の垣根や地域・年齢の垣根を超えて連携し、新しい価値を生み出している状態を実現したい。
- ・自然や農業といった良さを残し、自然と共存しながら、稼げる規模の大きな産業も育成していく必要がある。
- ・産業の多様性があるからリスク分散ができ、他ではできない副業や分野を超えた事業展開が可能になることも、塩尻で働く魅力になっている。
- ・“塩尻産業の魅力”を伝えるための物語を意識した情報発信や消費者との体験交流・関係づくりも重要。

分野④ 地域経済・産業・就労

私たちの目的は「今より働きたい人がもっと働けること」だからです

「10年後のありたい姿」は

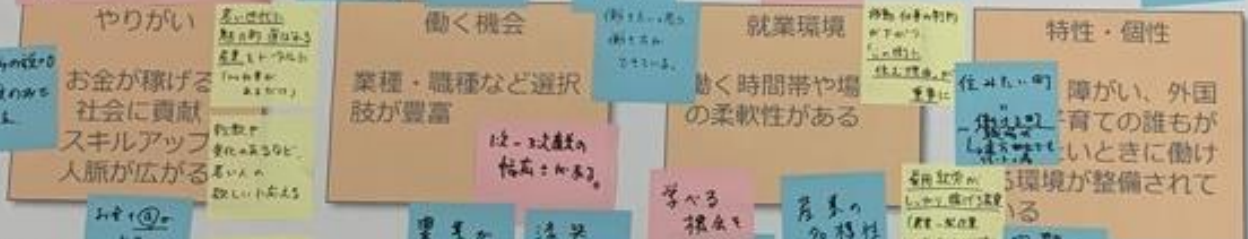
(仮)様々なビジネスに発展性と、やりがいがあり、だれでも望みがあった働き方を選んでいる

です

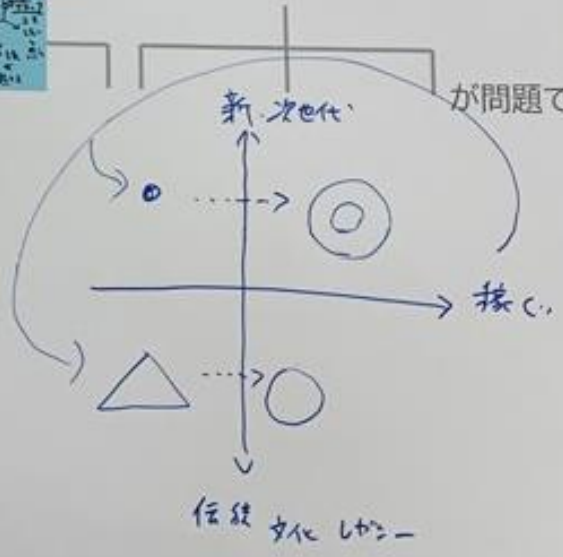
「10年後のありたい姿」の実現には

事業者視点

行政視点



の実現が必要です



が問題です

住む場所・住む。(LIFE)

10年後のありたい姿

所得向上

細かい

分野④ 地域経済・産業・就労

私たちの目的は、働きたい人がいきいきと働けることから

「10年後のありたい姿」は

(仮)様々なビジネスに発展性と、人とのつながり・やりがいがあり、だれでも希望にあった働き方を選べる です

この「ありたい姿」の実現には、

消費者の
視点

25-40代
(40代)

雇用の
速さ

生活の場
の「豊か」

働く
視点

環境の
共生

自然共生
のまちづくり
の推進

やりがい
お金が稼げる
社会に貢献
スキルアップ
人脈が広がる

機会(1)
農林業
の恵みを実
感できる持
続可能な雇
用を実現

働く機会(2)
製造・建設
業種・職種など
選択肢が多く

働く機会(3)
高・サービス・観光
業種・職種など
選択肢が多く

就業
時間帯や場所の
柔軟性があり、
子育て・介護と
も両立できる

個性・個性
性別、障がい、
年齢など多様
がある

の実現が
必要です

細かくは

